

多治見市 地方創生とSDGs推進へ協定 6企業・団体が締結



協定書を交わした古川雅典市長ら6企業・団体の代表者＝多治見市役所

多治見市と東京海上日動火災保険など6企業・団体は21日、同市の地方創生と持続可能な開発目標(SDGs)の推進に関する包括連携協定を結んだ。
地球環境を悪化させるこ

となく、豊かな暮らしをもたらすことを目指す国連のSDGsのうち、観光、防災、健康・医療・介護の分野で連携する。ビッグデータ分析を活用した観光施策の支援、防災授業、健康経

営イベントといった取り組みを進める。

市役所で開かれた締結式で、古川雅典市長、東京海上日動火災保険の小竹淳夫東濃支社長、東濃信用金庫の市原好二理事長、十六銀

行の樋口昭二多治見支店長、多治見商工会議所の柴田錦見副会頭、笠原町商工会の加藤恒文会長が協定書を交わした。

古川市長は「地元経済界のバックアップを受け、行

政、議会が一体となって持続可能なまちづくりを進めたい」と語り、小竹支社長は「当面は観光、防災、健康を柱に、多治見の将来に向けて貢献していきたい」とあいさつした。(野中準二)